

令和 8 年度 事業計画書

第 3 3 期

株式会社いわき市観光物産センター

福島県いわき市小名浜字辰巳町 4 3 番地の 1

目 次

事業計画書

- (1) 令和8年度 事業計画の概要 5
- (2) 令和8年度 重点事業 7
- (3) 令和8年度 全館売上高及び入館者計画 11
- (4) 令和8年度 販促活動計画 13
- (5) 令和8年度 誘客活動計画 15
- (6) 令和8年度 直営部門売上計画 17
- (7) 令和8年度 予算書 19

(1) 令和8年度 事業計画の概要

令和7年度の国内経済は、物価高騰の影響で実質賃金が低下し、消費者の節約志向が続いたものの、雇用・所得環境の改善により、個人消費は持ち直し、景気は緩やかな回復基調を示しました。一方で、不安定な国際情勢によりエネルギー・資源価格の高騰、人件費や物流費の増加、金融市場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

旅行業界では、バス代や宿泊費の上昇、生活コストの増加により、国内旅行需要は伸び悩みました。しかし、需要の完全回復には時間を要するものの、コロナ禍以前の水準へは徐々に回復しております。訪日旅行は、円安効果や長期休暇による需要の高まりにより堅調に推移し、インバウンドが国内旅行市場を下支えしています。

福島県においても、積極的な情報発信や積極的なプロモーションを行い、県内の観光資源の魅力発信や教育旅行誘致等に加え、復興に向き合う姿に焦点を当てたホープツーリズムなど、独自の取り組みにより、インバウンド需要の拡大と観光振興に取り組んでいます。

このような環境のもと、当センターでは「道の駅」のグランドオープンに向け、24時間利用可能な外部トイレの改修工事や屋根付障がい者優先駐車場の整備を進めました。直営店も改装により、仮設営業や休業期間もあり、全館売上高は一時的に減少しましたが、令和7年9月のグランドオープン以降は多くのお客様にご来館いただき、旅行需要の回復とともに1月末までの全館売上高、入館者数は前年同期を上回りました。国、県や市等の関係機関のご支援により、賑わいを取り戻す1年となりました。

令和7年度は、新コンセプト「HUG/いわき（ハグ・いわき）」と、キャッチコピー「いわきをぎゅーっと。」のもと、単なる観光施設ではなく、地域に愛され、いわきの魅力を体験できる施設づくりを進めました。「道の駅」登録は、地域志向の強化と施設の役割再構築に向けた重要な取り組みであり、オープンを契機に更なる活性化を図りました。

テナント誘致では、空き区画の解消に向けたリーシングを進め、2階には団体食事も対応できる「あじフライの右京」がオープンし、団体旅行の受け入れ強化に繋がりました。

また、震災の風化を防ぐための語り部活動や教育旅行の受け入れ、地元水産物「常磐もの」の販売強化など、多様なニーズに対応する取り組みも進めました。

営業販促活動においては、昨年に引き続き、テイクアウト品などを紹介した「ちょい食べ」事業の継続、5月は人気YouTuberによるイベントを開催し、全国各地からお客様が来場し大盛況となりました。「カツオ祭り」、「ふれあい昆虫王国&ジャングルの仲間たち」のイベント、「誕生祭」、「エレキ合戦」も例年通り開催しました。特に「誕生祭」につきましては「こども縁日&ワークショップ」や「親子フリーマーケット」などを実施し、幅広い世代に喜ばれるイベントとなりました。

令和8年度は、当館が「道の駅」として、本格的に歩みを進める重要な年度であります。当館が位置するアクアマリンパークは、本市でも有数の観光集客力を有するエリアであり、小名浜道路の開通

により高速道路と港湾エリアが直結したことで、更なる発展が期待されます。こうした恵まれた立地を活かし、周辺施設との連携を図りながら、第三セクターとして特徴ある「道の駅」へ進化して参ります。

当センターの強みを生かした「ここだけ」の資源活用を進めるとともに、新コンセプトに基づき、いわきの魅力を堪能できる施設として、中長期的な視点で取り組みを進め、集客力の更なる向上を目指し、令和8年度は「道の駅」としての機能強化と進化を進めて参ります。

テナントリーシングについては、適切なテナントの誘致により、施設全体の集客力と魅力を高め、長期的な安定経営を目指します。また、中長期修繕計画の改定を行い、施設躯体や空調衛生設備等の更新を図りながら、トータルコストの削減と施設の安全性・快適性の向上に努めます。厳しい経営環境の中にあっても適正な利益を確保し、当期純利益の黒字化を目指して参ります。

さらにアクアマリンパーク内の施設や市内観光施設との連携を強化し相互利用の促進を図ります。特に、旅行会社にとって課題となっている団体昼食場所の確保については、当館が積極的に受け入れを進めることで、市全体への観光波及効果を高めて参ります。

キャッシュレス決済については、各テナントに整備した決済端末の活用を促進することで、利用客の利便性向上に努めます。

販促活動では、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」や小名浜道路開通の追い風を最大限に活用し「道の駅」としての知名度の向上と固定ファンの獲得を図ります。また、農産物販売の強化や生産者との協力による魅力ある地元ならではの商品開発を進めます。さらに情報交流拠点としての役割を果たし、地域からの更なる期待や信頼に応えて参ります。

イベント事業では、当館らしい海鮮イベント「大鍋振舞い」や長年愛されてきた「全国ベンチャーズエレキ合戦」など各種事業を実施して参ります。「ちょい食べ」事業や魚食普及活動も継続し、オートバイ神社においては、ツーリングの目的地化やライダーの聖地化に向けた取り組みを行い、独自の特典サービスの提供や案内環境の整備を通して地域活性化を進めて参ります。

これらの事業を支える基盤として、職員の能力向上やモチベーションの維持が不可欠となります。職員研修やセミナー活動に加え、視察等の「学び」の機会を確保し「心理的安全性」の高い職場環境づくりを進めながら、「新しい いわきの観光・新しい 道の駅いわき・ら・ら・ミュウ」を合言葉に職員が一丸となって経営環境の向上に取り組んで参ります。

(2) 令和8年度 重点事業

① 施設管理・運営

(ア) 「道の駅」登録による24時間利用できるトイレ、ベビーコーナー、駐車場等の機能強化により、安全・安心、衛生管理の徹底、癒し・くつろぎ・人とのつながりを感じることができる快適な商環境空間の提供に努めます。

- 「道の駅」登録による24時間利用可能なトイレ、ベビーコーナー等の機能強化と充実
- 安全・安心の環境整備（除菌、インフルエンザ等の感染予防）
- 衛生管理の徹底（消毒・清掃の徹底）
- 開放感を感じることができる施設への取り組み

(イ) 「道の駅」登録に対応した全館の施設躯体や施設周辺の整備を行い、お客様が安全・安心に楽しく利用できる施設整備に努めます。

- 建物全体における屋根防水、外壁、外部躯体、建具、外構などの大規模修繕計画の策定
- 空調設備、電気設備、受電・配線設備等の耐用年数もしくは法令的な期間が経過する設備の修繕計画及び実施計画
- 熱源機器類の改善計画の立案及び実施計画、補助金の検討
- シャッター設備、排煙窓等の防災設備の修繕及び維持管理
- 補助金等の活用や経費節減による施設設備の改善の推進

(ウ) 「道の駅」登録による施設運営方針の見直しを行い、テナント指導やテナントリーシングを進めて参ります。また新規成長戦略として、新規事業を検討して参ります。

- 当館のコンセプトに基づき、「道の駅」としてのブランドを共有できる店舗、カフェやスイーツなど、新機能を備えたテナントの誘致を進め新規顧客を獲得できる店舗展開を図って参ります。
- より良い買い物や食事環境を提供するため専門家コンサルタントによる店舗指導を徹底し、施設サービスの向上に努めて参ります
- 専門コンサルタントとの共同による「道の駅」構想及び中期経営計画の策定

② 販売促進活動

(ア) 当駅コンセプトに基づき、「道の駅」としての地元志向を生かしながら、独自性の高い販促を展開し、話題性を高めるイベントやキャンペーンを企画することで、来館促進を図って参ります。当駅の強みである海や魚のイベントを通じて、「常磐もの」「いわき七浜」や、いわきの農林産品のキーワードとしたPRや販促をより磨き上げながら販促展開して参ります。
また、令和8年度は「道の駅」オープンから1周年を迎えることや、開業30年周年に向けたプレ期間に該当することから、地域の交流施設として、利用者や地域からの更なる期待や信頼に応えていけるような周年事業を展開して参ります。

- 「常磐もの」「いわき七浜」、「いわき農林産品」を強調した PR イベントの開催。
 - ・当駅の強みである大鍋振舞いなどの海鮮や、いわきの農林産品のイベントを実施。
- 当駅への来館目的を促進させる、「名物づくり育成事業」の更なる進展。
 - ・名物づくり育成事業の「ちょい食べ」などは継続し、適宜見直しを行いながら運営を強化して参ります。
 - ・令和 8 年度は道の駅オープン 1 周年事業として、テナントや取引業者と協力した「名物づくりコンテスト」を開催し、当駅の名物づくりに取り組んで参ります。
- 道の駅 1 周年記念事業、開館 30 周年プレイベントの開催。
- (イ)「道の駅」として登録したブランド効果を最大限に発揮するため、道の駅間のネットワークを活用した販促や、相互の特産品などの交流を通じて来訪者周遊を図って参ります。
- 東北「道の駅」スタンプラリー2026、ふくしま「道の駅」スタンプラリー

③ 誘客活動

- (ア) 観光・商業施設間や宿泊施設、教育関連施設や自治体等との連携を深め、周遊促進と誘客強化を図ります。

ふくしまデスティネーションキャンペーンや地域では周年記念を冠とした各種事業が展開されることから、政府や自治体が行う観光需要喚起策への参画や地域の記念事業を活用し、個人客を中心とした観光客を広く受け入れる施策を図って参ります。

- 地域での周年記念事業との連携。
 - (市制 60 周年、ハワイアンズ 60 周年、小名浜港開港 70 周年、いわきマリンタワー40 周年、FM いわき開局 30 周年などとの連携企画や自主企画の育成)
- 観光キャンペーンなど関係団体とのプロモーション活動連携 (ふくしま DC, 教育旅行誘致他)
- 市内観光・商業施設との連携。
 - ・アクアマリンパーク 3 者協議会など
- 震災・防災・教育関連施設との連携。
 - ・いわき震災伝承みらい館、体験型教育施設エリムなど
- いわき F C とのパートナー協定。
 - ・ファン感謝イベントの開催
- 自治体が推進する各種事業への参画。
 - ・レンタサイクル・サイクルステーション、トレイル事業など。
- 地域との共生・連携
 - ・こども支援事業を通じて、児童養護施設などの子どもたちへの食育の場の提供。
 - ・サークル、学校行事等の活用、中山間地域などとの連携

- (イ) 旅行エージェントセールス活動の継続を通して、団体客の確保に繋げて参ります。

テナント区画は夏ごろに全区画オープン予定していることから、各店の特徴や団体昼食可能店舗などの情報提供を通じて団体需要の取り込みや、誘客促進に努めて参ります。

- 団体食事施設のメニューや手数料などの情報提供、周辺観光・宿泊施設の情報をアップデートして定期的なリリース配信と訪問営業の実施。
- 小名浜道路の周知強化と共に、周遊時間短縮や新たな周遊観光ルートの提案。
- 道の駅オープン1周年記念事業として、旅行エージェントを通じた当駅利用者へのお買物券プレゼントキャンペーンを展開し、当駅利用を推進。

④ 広告宣伝活動

- (ア) 道の駅ブランドを使った各媒体へのPRや広報を見直し、道の駅連絡会との連携強化を図ったPRや広告宣伝活動を推進して参ります。また当駅の強みを生かしたイベント・販促の定期的な情報発信に努め、リリース専門会社や報道機関等の活用を図り、効果的な広報活動を行なって参ります。
 - 報道機関やニュースリリース会社（アットプレスなど）の活用
- (イ) 当駅の認知度・集客を高めるため、旅行雑誌等の道の駅上位ランキング掲載を意識しながら大手雑誌掲載など露出を拡大して参ります。
 - 旅行雑誌、その他「道の駅」関連機関紙への掲出強化。
- (ウ) ら・ら・ミュウ公式SNSサービスの配信頻度を強化します。
 - また、ら・ら・ミュウ公式YouTubeチャンネルを活用し、LINEとリンクしたタイムリーな情報発信を行い、動画ならではの情報を提供して参ります。
 - LINE登録者に向けた定期的なお得情報などの配信。
 - YouTubeチャンネルで動画配信の提供の継続。

⑤ 直営部門運営

- (ア) 「いわきの物産 銘品プラザ」においては、「道の駅」の基幹店としての自覚を持ち、出荷者組合の運営と登録者数を増やし、品揃えなどの一層の充実を図ると共に、新商品やPB（プライベートブランド）の開発、月や季節ごとに各種フェアを行い、売上確保を目指します。また、仕入れ価格や経費の見直し、取引先の拡充を行い、収益率の向上に努めて参ります。
 - 出荷者組合総会の実施、組合加入者および新規生産者への定期的な訪問営業。
 - 菓子類の新商品開発や日本酒のPBなどを展開し、オリジナル商品の一層の強化。
 - 季節や月毎に各種フェアをコーナー展開し、いわきや福島の魅力を広くPR。
 - 学生による開発商品等の実演販売の招致、取り扱いの拡大。
 - 専門家の指導による売り場づくりや接客技術の向上。
 - 仕入れ値やオペレーションの見直し、高利益商品の充実による収益改善。
- (イ) その他の部門については、接客やサービス品質の向上に取り組み、売上確保を図って参ります。

- 宝くじ売り場は、ジャンボ宝くじなどの販売の販促物・演出の充実や、接客技術向上を図り、販売体制を強化
- 自動販売機は、当駅やパーク内で行われるイベント時や繁忙期に機会ロスが生じないよう業者との商品管理を徹底。
- ゲームコーナーミュウランドは景品や人気遊具の入替を検討しながら収益と管理体制の改善を図る。

(3) 令和8年度 全館売上高及び入館者計画

① 全館売上高計画 (単位:円)										
月別	全館売上									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	135,550,000	110,811,523	24,738,477	122.32%	116,883,645	18,666,355	115.97%	120,932,831	14,617,169	112.09%
5月	190,030,000	156,817,224	33,212,776	121.18%	151,733,673	38,296,327	125.24%	144,949,300	45,080,700	131.10%
6月	140,810,000	115,912,182	24,897,818	121.48%	120,880,666	19,929,334	116.49%	118,951,088	21,858,912	118.38%
第1四半期	466,390,000	383,540,929	82,849,071	121.60%	389,497,984	76,892,016	119.74%	384,833,219	81,556,781	121.19%
7月	169,020,000	133,269,549	35,750,451	126.83%	139,486,729	29,533,271	121.17%	128,019,013	41,000,987	132.03%
8月	310,240,000	246,932,309	63,307,691	125.64%	236,216,900	74,023,100	131.34%	188,442,604	121,797,396	164.63%
9月	193,980,000	177,477,554	16,502,446	109.30%	148,652,893	45,327,107	130.49%	115,416,764	78,563,236	168.07%
第2四半期	673,240,000	557,679,412	115,560,588	120.72%	524,356,522	148,883,478	128.39%	431,878,381	241,361,619	155.89%
10月	204,920,000	185,631,842	19,288,158	110.39%	142,135,207	62,784,793	144.17%	138,185,586	66,734,414	148.29%
11月	225,790,000	205,546,423	20,243,577	109.85%	160,133,844	65,656,156	141.00%	150,019,306	75,770,694	150.51%
12月	212,900,000	205,815,348	7,084,652	103.44%	174,108,174	38,791,826	122.28%	138,637,323	74,262,677	153.57%
第3四半期	643,610,000	596,993,613	46,616,387	107.81%	476,377,225	167,232,775	135.11%	426,842,215	216,767,785	150.78%
1月	163,990,000	151,508,679	12,481,321	108.24%	127,757,473	36,232,527	128.36%	96,608,412	67,381,588	169.75%
2月	129,900,000	119,910,000	9,990,000	108.33%	101,986,936	27,913,064	127.37%	77,684,306	52,215,694	167.22%
3月	165,870,000	152,860,000	13,010,000	108.51%	130,796,191	35,073,809	126.82%	98,141,849	67,728,151	169.01%
第4四半期	459,760,000	424,278,679	35,481,321	108.36%	360,540,600	99,219,400	127.52%	272,434,567	187,325,433	168.76%
年間計	2,243,000,000	1,962,492,633	280,507,367	114.29%	1,750,772,331	492,227,669	128.11%	1,515,988,382	727,011,618	147.96%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%					

- 【 全館売上・入館者 】
- 令和8年度の全館売上高及び入館者につきましては売上で22億4千万円、入館者で 175万人を目標としております。
- 令和7年度の全館売上は19億6千万円、入館者は152万人を見込んでいるため、前年度比較で売上2億8千万円増の前年度比114.3%、入館者で23万人増の114.9%となっております。
- 令和8年度は当駅が道の駅として1周年を迎えることや開館30周年プレシーズンの販促企画、また、市制60周年や小名浜港開港70周年、ふくしまDCなどの行政等の事業に自主参入する企画での誘客促進を図ってまいります。
- その他、テナント区画が新規オープンで満床での営業になることなどを見込んで予算化致しております。

- 各ゾーンの計画は以下の通り。
- おさかなゾーン: 個店の推し魚種やふるさと納税返礼品などの取り組みで「常磐もの」の販売強化に務め、前年度比102.5%の6億4千万円を計画。
- 物販ゾーン: 銘品プラザの産直販売強化や新店効果を見込み、前年度比125%の8億3千4百万円を計画。
- 飲食ゾーン: メニューや価格を見直し、前年度103.7%の5億1千6百万円で計画。
- レストランゾーン・遊覧船・遊び場: 新規レストランオープンや団体受入れの増加を見込み、前年度比145.9%の2億5千3百万円を計画。

- 1日あたりの平均売上は639万円。平日と土日祝の比率は1対3として前年同様に設定。平日の地元利用の底上げを期待しつつ、観光特化型施設として計画。

(単位:円)								
	令和8年度	令和7年度比	日数	令和8年度平均売上	令和7年度見込み	日数	令和7年度平均売上	平均売上令和7年度比
平日	840,480,000	114.32%	225	3,735,467	735,198,066	226	3,253,089	114.83%
土日祝	1,402,520,000	114.28%	126	11,131,111	1,227,294,567	126	9,740,433	114.28%
合計	2,243,000,000	114.29%	351	6,390,313	1,962,492,633	352	5,575,263	114.62%
			平日:土日祝	1:3		平日:土日祝	1:3	

② 入館者計画 (単位:人)										
月別	入館者									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	105,000	85,500	19,500	122.81%	91,600	13,400	114.63%	120,500	△ 15,500	87.14%
5月	165,000	134,400	30,600	122.77%	128,700	36,300	128.21%	162,700	2,300	101.41%
6月	115,000	95,100	19,900	120.93%	91,400	23,600	125.82%	115,100	△ 100	99.91%
第1四半期	385,000	315,000	70,000	122.22%	311,700	73,300	123.52%	398,300	△ 13,300	96.66%
7月	130,000	107,200	22,800	121.27%	111,200	18,800	116.91%	134,100	△ 4,100	96.94%
8月	280,000	230,700	49,300	121.37%	218,300	61,700	128.26%	242,000	38,000	115.70%
9月	180,000	148,100	31,900	121.54%	119,700	60,300	150.38%	127,300	52,700	141.40%
第2四半期	590,000	486,000	104,000	121.40%	449,200	140,800	131.34%	503,400	86,600	117.20%
10月	148,000	136,800	11,200	108.19%	109,700	38,300	134.91%	125,000	23,000	118.40%
11月	158,000	144,300	13,700	109.49%	118,400	39,600	133.45%	138,700	19,300	113.91%
12月	145,000	133,600	11,400	108.53%	118,400	26,600	122.47%	120,500	24,500	120.33%
第3四半期	451,000	414,700	36,300	108.75%	346,500	104,500	130.16%	384,200	66,800	117.39%
1月	125,000	116,400	8,600	107.39%	109,100	15,900	114.57%	102,300	22,700	122.19%
2月	90,000	87,000	3,000	103.45%	81,100	8,900	110.97%	86,700	3,300	103.81%
3月	109,000	104,000	5,000	104.81%	99,000	10,000	110.10%	96,400	12,600	113.07%
第4四半期	324,000	307,400	16,600	105.40%	289,200	34,800	112.03%	285,400	38,600	113.52%
年間計	1,750,000	1,523,100	226,900	114.90%	1,396,600	353,400	125.30%	1,571,300	178,700	111.37%

- 【 第1四半期 】
- 第1四半期は前年度比121.6%で計画致しました。
- 物販とレストランで新規オープンを見込んでいることや、銘品プラザが改装前の実績から大きく上振れすることなど見込んで年間では最も上振れる予測のもと、予算化致しました。
- 【 第2四半期 】
- 第2四半期は前年度比120.7%で計画致しました。
- 認知度が広まり、新店効果が徐々に発揮することや、昨年の夏場は銘品プラザが改装の為に売場縮小であったため、物販ゾーンで144.1%となるなど、第1四半期に続き大きく上振れる予算を組んでおります。
- 【 第3四半期 】
- 行楽のトップシーズンとなる第3四半期は前年度比107.8%で計画致しました。
- 道の駅1周年などの記念イベントなど設け、誘客を図ってまいります。
- 【 第4四半期 】
- 第4四半期は前年度比108.4%で計画致しました。
- 道の駅としてオープンも1巡し、予算は四半期比較では最も低く設定しております。

③ ゾーン別売上高

(単位:円)										
月別	おさかなゾーン(6店舗)									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	37,000,000	35,691,287	1,308,713	103.67%	38,743,608	△ 1,743,608	95.50%	48,426,675	△ 11,426,675	76.40%
5月	53,000,000	51,253,006	1,746,994	103.41%	50,323,627	2,676,373	105.32%	52,666,151	333,849	100.63%
6月	39,000,000	37,839,094	1,160,906	103.07%	38,811,271	188,729	100.49%	44,909,123	△ 5,909,123	86.84%
第1四半期	129,000,000	124,783,387	4,216,613	103.38%	127,878,506	1,121,494	100.88%	146,001,949	△ 17,001,949	88.35%
7月	42,000,000	41,531,906	468,094	101.13%	38,957,133	3,042,867	189.95%	45,875,882	△ 3,875,882	161.30%
8月	74,000,000	72,743,914	1,256,086	101.73%	59,958,683	14,041,317	123.42%	59,337,204	14,662,796	124.71%
9月	52,000,000	50,651,557	1,348,443	102.66%	41,792,391	10,207,609	124.42%	45,161,556	6,838,444	115.14%
第2四半期	168,000,000	164,927,377	3,072,623	101.86%	140,708,207	27,291,793	119.40%	150,374,642	17,625,358	111.72%
10月	58,000,000	55,885,490	2,114,510	103.78%	46,017,350	11,982,650	126.04%	59,798,743	△ 1,798,743	96.99%
11月	68,000,000	65,650,336	2,349,664	103.58%	57,090,374	10,909,626	119.11%	66,296,801	1,703,199	102.57%
12月	90,000,000	89,805,782	194,218	100.22%	83,727,508	6,272,492	107.49%	79,009,102	10,990,898	113.91%
第3四半期	216,000,000	211,341,608	4,658,392	102.20%	186,835,232	29,164,768	115.61%	205,104,646	10,895,354	105.31%
1月	48,000,000	47,563,293	436,707	100.92%	44,340,617	3,659,383	108.25%	40,630,487	7,369,513	118.14%
2月	36,000,000	35,000,000	1,000,000	102.86%	33,557,853	2,442,147	107.28%	33,593,139	2,406,861	107.16%
3月	43,000,000	41,000,000	2,000,000	104.88%	40,249,294	2,750,706	106.83%	39,433,299	3,566,701	109.04%
第4四半期	127,000,000	123,563,293	3,436,707	102.78%	118,147,764	8,852,236	107.49%	113,656,925	13,343,075	111.74%
年間計	640,000,000	624,615,665	15,384,335	102.46%	573,569,709	66,430,291	111.58%	615,138,162	24,861,838	104.04%
構成比	28.5%	31.8%			32.8%					

(単位:円)										
月別	飲食ゾーン(8店舗)									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	33,000,000	31,538,852	1,461,148	104.63%	29,747,942	3,252,058	110.93%	24,961,797	8,038,203	132.20%
5月	46,000,000	44,030,779	1,969,221	104.47%	38,187,624	7,812,376	120.46%	30,104,370	15,895,630	152.80%
6月	32,500,000	31,023,931	1,476,069	104.76%	30,157,096	2,342,904	107.77%	22,576,876	9,923,124	143.95%
第1四半期	111,500,000	106,593,562	4,906,438	104.60%	98,092,662	13,407,338	113.67%	77,643,043	33,856,957	143.61%
7月	41,000,000	39,678,855	1,321,145	103.33%	39,172,231	1,827,769	104.67%	27,163,093	13,836,907	150.94%
8月	77,000,000	73,630,551	3,369,449	104.58%	67,916,788	9,083,212	113.37%	42,277,259	34,722,741	182.13%
9月	49,000,000	46,931,868	2,068,132	104.41%	41,611,138	7,388,862	117.76%	21,937,763	27,062,237	223.36%
第2四半期	167,000,000	160,241,274	6,758,726	104.22%	148,700,157	18,299,843	112.31%	91,378,115	75,621,885	182.76%
10月	46,000,000	43,813,663	2,186,337	104.99%	34,226,610	11,773,390	134.40%	20,257,411	25,742,589	227.08%
11月	49,000,000	47,101,661	1,898,339	104.03%	36,937,780	12,062,220	132.66%	23,265,036	25,734,964	210.62%
12月	36,500,000	38,327,712	△ 1,827,712	95.23%	33,445,134	3,054,866	109.13%	18,785,933	17,714,067	194.29%
第3四半期	131,500,000	129,243,036	2,256,964	101.75%	104,609,524	26,890,476	125.71%	62,308,380	69,191,620	211.05%
1月	36,500,000	34,465,363	2,034,637	105.90%	31,882,092	4,617,908	114.48%	18,673,896	17,826,104	195.46%
2月	30,000,000	29,000,000	1,000,000	103.45%	26,380,695	3,619,305	113.72%	12,998,785	17,001,215	230.79%
3月	39,500,000	38,000,000	1,500,000	103.95%	36,116,023	3,383,977	109.37%	18,185,344	21,314,656	217.21%
第4四半期	106,000,000	101,465,363	4,534,637	104.47%	94,378,810	11,621,190	112.31%	49,858,025	56,141,975	212.60%
年間計	516,000,000	497,543,235	18,456,765	103.71%	445,781,153	70,218,847	115.75%	281,187,563	234,812,437	183.51%
構成比	23.0%	25.4%			25.5%					

(単位:円)										
月別	物販ゾーン(11店舗)									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	50,600,000	36,457,418	14,142,582	138.79%	37,429,762	13,170,238	135.19%	33,248,329	17,351,671	152.19%
5月	73,130,000	53,260,377	19,869,623	137.31%	49,790,199	23,339,801	146.88%	43,033,172	30,096,828	169.94%
6月	53,810,000	39,076,272	14,733,728	137.71%	39,150,476	14,659,524	137.44%	33,031,759	20,778,241	162.90%
第1四半期	177,540,000	128,794,067	48,745,933	137.85%	126,370,437	51,169,563	140.49%	109,313,260	68,226,740	162.41%
7月	64,800,000	39,803,295	24,996,705	162.80%	46,295,778	18,504,222	139.97%	36,033,756	28,766,244	179.83%
8月	125,500,000	77,763,286	47,736,714	161.39%	87,400,860	38,099,140	143.59%	61,468,271	64,031,729	204.17%
9月	67,720,000	61,442,841	6,277,159	110.22%	51,010,697	16,709,303	132.76%	31,904,292	35,815,708	212.26%
第2四半期	258,020,000	179,009,422	79,010,578	144.14%	184,707,335	73,312,665	139.69%	129,406,319	128,613,681	199.39%
10月	75,300,000	67,839,389	7,460,611	111.00%	47,565,681	27,734,319	158.31%	35,797,519	39,502,481	210.35%
11月	81,650,000	73,454,490	8,195,510	111.16%	50,719,921	30,930,079	160.98%	37,150,450	44,499,550	219.78%
12月	67,470,000	61,626,230	5,843,770	109.48%	46,214,179	21,255,821	145.99%	28,661,105	38,808,895	235.41%
第3四半期	224,420,000	202,920,109	21,499,891	110.60%	144,499,781	79,920,219	155.31%	101,609,074	122,810,926	220.87%
1月	61,250,000	53,717,554	7,532,446	114.02%	41,368,154	19,881,846	148.06%	26,823,140	34,426,860	228.35%
2月	48,540,000	44,000,000	4,540,000	110.32%	33,186,117	15,353,883	146.27%	19,877,962	28,662,038	244.19%
3月	63,930,000	58,300,000	5,630,000	109.66%	43,918,143	20,011,857	145.57%	26,165,106	37,764,894	244.33%
第4四半期	173,720,000	156,017,554	17,702,446	111.35%	118,472,414	55,247,586	146.63%	72,866,208	100,853,792	238.41%
年間計	833,700,000	666,741,152	166,958,848	125.04%	574,049,967	259,650,033	145.23%	413,194,861	420,505,139	201.77%
構成比	37.2%	34.0%			32.8%					

(単位:円)										
月別	レストランゾーン・遊覧船・遊び場(5店舗)									
	令和8年度計画	令和7年度見込み	増減	令和7年度比	令和6年度	増減	令和6年度比	平成30年度	増減	平成30年度比
4月	14,950,000	7,123,966	7,826,034	209.86%	10,962,333	3,987,667	136.38%	14,296,030	653,970	104.57%
5月	17,900,000	8,273,062	9,626,938	216.36%	13,432,223	4,467,777	133.26%	19,145,607	△ 1,245,607	93.49%
6月	15,500,000	7,972,885	7,527,115	194.41%	12,761,823	2,738,177	121.46%	18,433,330	△ 2,933,330	84.09%
第1四半期	48,350,000	23,369,913	24,980,087	206.89%	37,156,379	11,193,621	130.13%	51,874,967	△ 3,524,967	93.20%
7月	21,220,000	12,255,493	8,964,507	173.15%	15,061,587	6,158,413	140.89%	18,946,282	2,273,718	112.00%
8月	33,740,000	22,794,558	10,945,442	148.02%	20,940,569	12,799,431	161.12%	25,359,870	8,380,130	133.04%
9月	25,260,000	18,451,288	6,808,712	136.90%	14,238,667	11,021,333	177.40%	16,413,153	8,846,847	153.90%
第2四半期	80,220,000	53,501,339	26,718,661	149.94%	50,240,823	29,979,177	159.67%	60,719,305	19,500,695	132.12%
10月	25,620,000	18,093,300	7,526,700	141.60%	14,325,566	11,294,434	178.84%	22,331,913	3,288,087	114.72%
11月	27,140,000	19,339,936	7,800,064	140.33%	15,385,769	11,754,231	176.40%	23,307,019	3,832,981	116.45%
12月	18,930,000	16,055,624	2,874,376	117.90%	10,721,353	8,208,647	176.56%	12,181,183	6,748,817	155.40%
第3四半期	71,690,000	53,488,860	18,201,140	134.03%	40,432,688	31,257,312	177.31%	57,820,115	13,869,885	123.99%
1月	18,240,000	15,762,469	2,477,531	115.72%	10,166,610	8,073,390	179.41%	10,480,889	7,759,111	174.03%
2月	15,360,000	11,910,000	3,450,000	128.97%	8,862,271	6,497,729	173.32%	11,214,420	4,145,580	136.97%
3月	19,440,000	15,560,000	3,880,000	124.94%	10,512,731	8,927,269	184.92%	14,358,100	5,081,900	135.39%
第4四半期	53,040,000	43,232,469	9,807,531	122.69%	29,541,612	23,498,388	179.54%	36,053,409	16,986,591	147.12%
年間計	253,300,000	173,592,581	79,707,419	145.92%	157,371,502	95,928,498	160.96%	206,467,796	46,832,204	122.68%
構成比	11.3%	8.8%			9.0%					

(4) 令和8年度 販売促進活動計画

※赤字は本年度計画として新規で企画された事業・イベントなどになります。														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全館イベント・販促事業	周年事業	□開館30周年 プレイベント事業			・開館29周年誕生祭			・旅行エージェント向け お買物券プレゼントキャンペーン(閑散期3か月程度)						
		□道の駅オープン1周年事業 名物づくり育成 ① ちよい食べメニュー・スポット紹介(継続) ② 名物づくりコンテスト テナント対象(土産・グルメ部門) ③ 名物づくりコンテスト 銘品プラザ取引先対象			■道の駅1周年イベント									
	道の駅	□道の駅 関連事業 ・東北道の駅スタンプラリー(4/中旬～1/中旬) ・ふくしま道の駅スタンプラリー(5/31まで)												
	連携・協力・協賛事業	□ふくしまデスティネーションキャンペーン2026 ・いわき市周遊デジタルスタンプラリー(4/1～6/30) ・エキタグデジタルスタンプラリー(4/1～6/30) ・レンタカーでHAPPYドライブキャンペーン(4/1～6/30) ・Suica、電子マネーキャンペーン(4/1～6/30)			・いわきFC ファン感謝祭		・アクアマリンパークスタンプラリー (8月初旬～8/31)		・いわきFCファン感謝祭		・ウインターキャンペーン(1月中旬～2/28)			
		□市政60周年記念事業						・市制60周年(10/1)						
		□小名浜港開港70周年記念事業 ・開港70周年(5/1)								・サンシャインマラソン関係者向け お買物券プレゼント				
□いわきマリンタワー40周年記念事業			・開業40周年(8/1)											
□ハワイアンズ60周年連携事業 ・ハワイアンズ宿泊者対象お買物券プレゼント			・ハワイアンズ宿泊者対象お買物券プレゼント(7月中旬～8月中旬)								・ハワイアンズ宿泊者 お買物券プレゼント (3月中旬～4月初旬)			
□FMいわき30周年連携事業						・いわき花火大会(8/1)		・FMいわき30周年イベント						
イベント	GW イベント			サマーイベント			オータムイベント			年末年始イベント		スプリングイベント		
	■GWわくわくイベン ■第11回かつお祭			■第20回全国ベンチャーズ エレキ合戦			■第12回さんま祭り			■クリスマス&歳末感謝 抽選会		■新春イベント ■あんこう鍋振舞い		
	・ピアノイベント(4/25) ・ららミュウマルシェ(4/26) ・津軽三味線イベント(5/30)											■年度末感謝祭 いわき・ら・らミュウ祭り		
	・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (4/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (5/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (6/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (7/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (8/7)	
・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (9/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (10/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (11/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (12/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (1/7)		
・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (2/7)			・ら・ら・ミュウさかなの日 ・いわき市さかなの日 (3/7)											
告知媒体	情報誌・雑誌	・春の観光特集(財界ふくしま) ・GWイベント(福島メディア)			・お盆イベント(福島メディア) ・道の駅1周年(いわきジャーナル/RPS道の駅/ほか)			・正月イベント(福島メディア/東邦出版))			・るるぶ東北、福島			
	新聞	・年約題字下(いわき民報) ・GWお出かけ情報(福島民報/民友・お母さん似顔絵展(いわき民報)			・花火大会(福島民報/民友/いわき民報)			・正月イベント情報(福島民報/民友/いわき民報)						
	テレビ・ラジオ													
	ポスター・チラシ	・ちよい食べマップ(春夏版)			・道の駅1周年イベントポスター									
	ホームページ SNS YouTube	・X/facebook/twitter/LINE			・ちよい食べマップ(秋冬版)									
館内・外装飾		・誕生祭装飾						・クリスマス			・正月			
アクアマリンパーク及び 小名浜周辺イベント		・小名浜マリンブリッジ一般開放 ・海上自衛隊輸送艇一般公開			・おなほま海遊祭 ・いわきおどり小名浜大会						・第17回いわきサンシャインマラソン(2/23) ・いわき七浜おさかな フェスティバル			

(5) 令和 8 年度 誘客活動計画

① 令和 7 年度第 3 四半期までのバス来館状況

令和 7 年度第 3 四半期までの観光バスの来館は 2,218 台となり、令和 6 年度の 2,495 台と比較すると、277 台減の 88.9%、平成 30 年度比較では 2,653 台減少の 45.5%となっています。

新型コロナウイルス感染症法の分類が 5 類に移行してからは徐々に少人数の団体を中心に団体旅行復活の兆しは見られましたが、バス料金や宿泊代の高騰、昨今の物価高による節約志向なども絡み、団体ツアーの募集が集まりづらい状況や旅行自体の回数減少、さらに旅行動向は安・近・短の傾向が続くなどの状況にあります。

また、コロナ禍や高齢化を理由に閉業しているエージェントや、大手でも窓口や支店の統廃合が続き、旅行エージェントも減少していることや、加えて団体食事を受け入れる施設が当駅を含めて減少しており、団体旅行の動向は厳しさが増しております。

令和 7 年度 4 月～12 月バス来館状況

令和 7 年度	令和 6 年度	増減	対比	平成 30 年度	増減	対比
2,218 台	2,495 台	△277 台	88.9%	4,871 台	△2,653 台	45.5%

② 令和 8 年度誘客計画

- (ア) 令和 8 年度の誘客活動訪問地区は昨年度のバス来館地区ランキングを基に選定いたしました。

バス代や宿泊施設、食事代など各種料金の値上げによる影響で、旅行代金も上がるため、団体旅行は当面、日帰り圏内などが主流と思われることから、引き続き福島県内や隣接県、首都圏の一次・二次エリア（当駅から 250 km 圏内）を中心とした地域とバス来館上位ランキングを参照してエージェントセールスを実施していく計画です。

原則月 1 回 2 名体制でのセールスを計画しておりますが、正社員も増員予定であることや、高速道路の圏央道（大栄 JCT～松尾横芝 IC 間）や東関東道（鉾田 IC～潮来 IC 間）の開通が令和 8 年度中に見込まれることから、旅行動向に注力しながらエージェントセールス活動は、月 2 回訪問する月などを加えながらセールスを行ってまいります。

- (イ) 令和 8 年度の誘客活動は新店舗オープンや団体受入れ施設の案内、小名浜道路利用による旅行行程時短などの提案をしてまいります。その他、アクセスの効率化による市内観光施設や震災関連施設、道の駅巡りなどと小名浜エリアとの周遊を絡めた誘客も継続してセールスしてまいります。

- (ウ) また、道の駅オープン 1 周年や開館 30 周年のプレシーズンを迎えることから、各種周年事業を展開する予定であり、旅行エージェントに向けては閑散期の誘客促進を図るべく、当駅利用の団体客向けのお買物券サービス企画などを設けてまいりますので、その点も PR しつつ誘客促進を図ってまいります。

令和 6 年度バス来館地区ランキング

商 圏	順位	地 域
二次エリア	1 位	東京都
一次エリア	2 位	茨城県
二次エリア	3 位	埼玉県
一次エリア	4 位	福島県
二次エリア	5 位	群馬県
一次エリア	6 位	栃木県
二次エリア	7 位	千葉県
二次エリア	8 位	岩手県
二次エリア	9 位	新潟県
二次エリア	10 位	宮城県

平成 30 年度バス来館地区ランキング

商 圏	順位	地 域
一次エリア	1 位	福島県
二次エリア	2 位	東京都
二次エリア	3 位	埼玉県
一次エリア	4 位	茨城県
二次エリア	5 位	千葉県
一次エリア	6 位	栃木県
二次エリア	7 位	宮城県
二次エリア	8 位	群馬県
二次エリア	9 位	山形県
二次エリア	10 位	岩手県

③ 訪問計画

月	都・県	地 域	件数	訪問目的
4 月	栃木県	大田原・さくら市・那須烏山市他	50 社	北関東・隣接県からの誘客
5 月	新潟県	新潟市	50 社	隣接県からの誘客
6 月	宮城県	仙台市	50 社	隣接県からの誘客
7 月	東京都	葛飾区・江戸川区	50 社	首都圏からの誘客
8 月	埼玉県	川越市・狭山市・所沢市他	50 社	首都圏からの誘客
9 月	山形県	東根市・山形市・米沢市他	50 社	隣接県からの誘客
10 月	千葉県	八千代市・成田市・香取市他	50 社	首都圏からの誘客
11 月	群馬県	前橋市・桐生市・みどり市	50 社	北関東からの誘客
12 月	福島県	中通り・会津地区	100 社	県内宿泊施設 年末挨拶
1 月	東京都	練馬区・豊島区	50 社	隣接県からの誘客
2 月	茨城県	石岡市・土浦市・稲敷市・小美玉市他	50 社	隣接県からの誘客
3 月	埼玉県	春日部市・越谷市・川口市・草加市	50 社	首都圏からの誘客
合計			650 社	

(6)令和8年度 直営部門計画

【 直営部門 売上総利益総計 】

部門	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度計画	令和7年度対比	平成30年度実績	平成30年度対比
直営店	61,554,785	77,277,748	115,111,000	149.0%	50,318,494	228.8%
宝くじ	6,147,326	6,821,831	7,597,000	111.4%	7,093,014	107.1%
ミュウランド	3,912,019	4,769,576	5,700,000	119.5%	2,493,430	228.6%
自動販売機	5,752,347	5,789,186	6,743,000	116.5%	6,612,087	102.0%
合計	77,366,477	94,658,341	135,151,000	142.8%	66,517,025	203.2%

(参考)

【 直営店 】

項目		令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度計画	令和7年度対比
販売金額		248,095,135	304,160,507	446,800,000	146.9%
受託販売	売上高	141,761,558	171,720,872	241,222,000	140.5%
	仕入れ	103,013,471	126,141,373	176,093,000	139.6%
	販売手数料①	38,748,087	45,579,499	65,129,000	142.9%
産直	売上高	0	11,892,808	26,808,000	225.4%
	仕入れ	0	9,590,973	21,446,000	223.6%
	販売手数料②	0	2,301,835	5,362,000	232.9%
買取販売	売上高	106,333,577	133,451,243	178,770,000	134.0%
	月初商品棚卸高	3,721,558	3,505,312	4,600,000	131.2%
	仕入れ	81,375,073	103,093,716	134,160,000	130.1%
	月末商品棚卸高	3,505,312	4,600,000	5,500,000	119.6%
	商品減耗損	262,367	181,042	290,000	160.2%
	商品廃棄額	307,173	508,739	600,000	117.9%
	利益③	22,806,698	29,396,414	44,620,000	151.8%
社収益①+②+③		61,554,785	77,277,748	115,111,000	149.0%
利益率		24.8%	25.4%	25.8%	101.4%

【直営部門計】：事業計画のもと、当駅のオープン1周年記念事業や開館30周年プレイベントなどの販促計画との連動や魅力ある売場づくりやホスピタリティの向上に務め、売上総利益1億3千5百万円（令和7年度比142.8％）の達成を目指します。

【直営店】：道の駅化に伴い拡充した産直売り場は生産者の確保や道の駅間の連携を視野に入れ、品揃えを充実させてまいります。また、PB開発による名物育成を図るとともに、主力土産品の管理を徹底し、販売ロスや廃棄ロスの削減に務め収益改善を図ってまいります。

【自動販売機】：当駅やアクアマリンパーク内で行われるイベントや、繁忙時期における欠品等の機会ロスを削減し商品管理を徹底してまいります。

【宝くじ】：ジャンボ宝くじ販売時の販促物や演出および販売体制を徹底し、業務マニュアルにの基づいた接客技術を身に着け、販売枚数増を目指してまいります。

【ミュウランド】：魅力的な景品の充実や、機器のメンテナンスを徹底し、安定した稼働と収益の確保を図ってまいります。

【 宝くじ 】

項目	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度計画	令和7年度対比
宝くじ手数料	4,126,094	4,676,945	5,015,000	107.2%
数選式手数料	1,524,332	1,638,861	1,975,000	120.5%
立替金手数料	142,138	121,320	143,000	117.9%
サッカーくじ手数料	354,762	384,705	464,000	120.6%
合計	6,147,326	6,821,831	7,597,000	111.4%

【 ミュウランド 】

区分	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度計画	令和7年度対比
手数料	3,912,019	4,769,576	5,700,000	119.5%

【 自動販売機 】

取引先	項目	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度計画	令和7年度対比
コココーライーストジャパン	販売手数料	1,534,567	1,569,858	1,905,000	121.3%
	空缶処理手数料	216,000	216,000	216,000	100.0%
サントリービバレッジサービス	販売手数料	934,437	893,403	1,056,000	118.2%
	空缶処理手数料	120,000	120,000	120,000	100.0%
ジャパンビバレッジHD	販売手数料	0	0	0	-
	空缶処理手数料	30,000	30,000	30,000	100.0%
いわきヤクルト販売㈱	販売手数料	479,245	492,711	608,000	123.4%
	空缶処理手数料	150,000	150,000	150,000	100.0%
ダイドードリンコ㈱	販売手数料	875,334	962,417	1,157,000	120.2%
	空缶処理手数料	216,000	216,000	216,000	100.0%
(有)仙坂酒店	販売手数料	668,788	642,509	736,000	114.6%
	空缶処理手数料	150,000	150,000	150,000	100.0%
伊藤園	販売手数料	330,016	305,670	369,000	120.7%
	電気料金	30,000	30,000	30,000	100.0%
まことや酒店	販売手数料	17,960	10,617	0	0.0%
小計	販売手数料	4,840,347	4,877,186	5,831,000	119.6%
	空缶処理手数料	912,000	912,000	912,000	100.0%
合計		5,752,347	5,789,186	6,743,000	116.5%

(7) 令和8年度 予算明細書

① 売上高

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	家賃収入	99,443,098	98,648,490	101,832,000	3,183,510	103.23%
2	直営店売上	109,660,013	133,717,852	178,770,000	45,052,148	133.69%
3	直営店売上(産直売上)	-	-	26,808,000	-	-
4	直営店売上(消化売上)	138,423,215	183,613,680	241,222,000	57,608,320	131.37%
5	受託金	29,525,455	29,525,455	29,520,000	△ 5,455	99.98%
6	経常販売促進収入	17,752,615	18,904,231	22,520,000	3,615,769	119.13%
7	宝くじ販売手数料	6,147,326	6,821,831	7,597,000	775,169	111.36%
8	自動販売機収入	5,705,360	5,789,186	6,743,000	953,814	116.48%
9	ゲームコーナー収入	3,912,019	4,769,576	5,700,000	930,424	119.51%
10	研修室使用料	6,008,919	5,551,415	5,625,000	73,585	101.33%
11	損害保険代理店手数料	66,166	83,422	0	△ 83,422	-
12	イベント手数料	436,755	366,150	380,000	13,850	103.78%
13	切手販売手数料	89,173	93,008	100,000	6,992	107.52%
14	屋内遊び場入場売上	0	0	-	-	-
15	売上値引き戻り高	△ 1,366,052	△ 1,327,536	0	1,327,536	-
16	売上高	415,804,062	486,556,760	626,817,000	140,260,240	128.83%

② 売上原価

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	期首直営店商品棚卸高(月合計)	3,721,558	3,505,312	4,600,000	1,094,688	131.23%
2	直営店仕入(消化仕入含む)	184,388,544	238,826,062	331,699,000	92,872,938	138.89%
3	期末直営店商品棚卸高(月合計)	3,505,312	4,400,000	5,500,000	1,100,000	125.00%
4	他勘定振替高	573,839	798,694	1,130,000	331,306	141.48%
5	商品減耗損	262,367	270,244	290,000	19,756	107.31%
6	リーシング費	78,000	50,000	100,000	50,000	200.00%
7	売上原価	184,371,318	237,452,924	330,059,000	92,606,076	139.00%
8	売上総利益	231,432,744	249,103,836	296,758,000	47,654,164	119.13%

【売上高・売上原価・売上総利益】

令和8年度の家賃収入の予算は、直営店の店舗拡大によりテナント賃貸面積が減少したが、新規テナントの入居契約による増加と、支援賃料の増加に伴い、令和8年度の家賃収入は増加となります。令和7年7月1日より、新たに2階に団体食事を受け入れできるレストラン「あじフライの右京」が入居となり家賃収入の増加の要因となっております。直営店の売上は、昨年に改装を行い、農産品等の取り扱いを行いました。また店舗面積が1.5倍に拡大し、商品の品揃えが充実し、売上増加に繋がっております。また道の駅の効果により、平日の来館者数が増加し、売上も同様に増加し、全体的な底上げとなっております。直営店仕入については、仕入、取引条件の見直しや利益率等の交渉を行いながら、売上総利益の改善を見込むものいたします。特に、今回の道の駅により、生産者組合を立ち上げ、農産品等の取り扱いを実施しています。生産者の登録者数を拡大し、市内の野菜や果物、加工品等の商品を提供し、売上総利益の改善を見込むものいたします。よって、売上総利益は、約296,758千円を見込み計上しております。

③ 販売費及び一般管理費

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	役員報酬	4,267,800	3,742,040	4,521,000	778,960	120.82%
2	給与手当	46,129,250	52,753,370	62,544,000	9,790,630	118.56%
3	雑給	55,000	89,600	170,000	80,400	189.73%
4	賞与手当	11,858,000	13,566,000	14,350,000	784,000	105.78%
5	法定福利費	9,379,926	8,959,244	12,612,000	3,652,756	140.77%
6	福利厚生費	2,551,133	2,780,297	3,270,000	489,703	117.61%
7	消耗品費	119,959	495,409	1,150,000	654,591	232.13%
8	事務用品費	201,257	620,194	520,000	△ 100,194	83.84%
9	地代家賃	3,695,070	3,767,070	3,695,000	△ 72,070	98.09%
10	賃借料	1,162,909	1,199,110	1,187,000	△ 12,110	98.99%
11	保険料	3,116,197	3,614,388	3,700,000	85,612	102.37%
12	修繕費	3,069,501	28,648,154	28,100,000	△ 548,154	98.09%
13	租税公課	9,464,514	9,350,474	9,430,000	79,526	100.85%
14	減価償却費	14,090,513	20,298,712	24,060,000	3,761,288	118.53%
15	退職給与引当金繰入	286,941	330,000	330,000	0	100.00%
16	旅費交通費	1,526,335	1,737,744	1,700,000	△ 37,744	97.83%
17	通信費	809,911	1,045,470	890,000	△ 155,470	85.13%
18	水道光熱費	8,544,293	9,294,442	11,760,000	2,465,558	126.53%
19	支払手数料	3,140,390	4,204,764	4,530,000	325,236	107.73%
20	荷造包装費	535,716	1,725,722	2,400,000	674,278	139.07%
21	運賃	117,227	133,789	170,000	36,211	127.07%
22	広告宣伝費	1,944,907	3,828,298	4,950,000	1,121,702	129.30%
23	接待交際費	310,317	245,918	310,000	64,082	126.06%
24	車両費	303,400	252,633	380,000	127,367	150.42%
25	新聞図書費	358,193	338,145	375,000	36,855	110.90%
26	研修費	277,189	520,000	1,200,000	680,000	230.77%
27	諸会費	795,860	708,440	910,000	201,560	128.45%
28	会議費	486,025	436,026	480,000	43,974	110.09%
29	管理諸費	5,038,318	5,681,182	7,000,000	1,318,818	123.21%
30	印刷費	1,594,432	1,636,265	1,600,000	△ 36,265	97.78%
31	業務委託費	14,512,691	13,835,921	18,330,000	4,494,079	132.48%
32	販売促進費	23,815,454	26,246,702	33,800,000	7,553,298	128.78%
33	支払共益費	28,567,890	29,322,495	26,892,000	△ 2,430,495	91.71%
34	寄付金	237,600	62,000	65,000	3,000	104.84%
35	貸倒償却	49,304	0	0	0	-
36	雑費	286,537	374,227	150,000	△ 224,227	40.08%
37	販売費及び一般管理費	202,699,959	251,844,245	287,531,000	35,686,755	114.17%
38	営業利益	28,732,785	△ 2,740,409	9,227,000	11,967,409	-

【販売費及び一般管理費】

人件費は職員の増加、給与手当、賞与手当、法定福利費（社会保険料）等について定昇の実施、直営店改装に伴う人員補充により前年より増加の計上としました。賞与については、通常支給額とし定昇の増加も含め道の駅の効果状況や経営状況を鑑みながら支給することで予算計上としました。修繕費は施設が28年以上を経過し、補修が必要な箇所や機器の取り替え工事が増え、さらに館内の環境整備として費用がかさむことから修繕費用を計上とした。令和8年度は前年と比べ道の駅改修工事等があったことから減少としました。さらに令和8年度予算について、施設の老朽化等に伴う設備の改修工事があり、修繕費及び資産計上による減価償却費の増加、さらには直営店レジ改修に伴う更新費用も増加することから、大幅な増加となりました。道の駅の1周年イベントや宣伝広告、告知、販促費用など、誘客のための販売促進費・イベント費用を計上としました。令和8年度は前年と比べ、道の駅グランドオープンイベント費用などがありましたが、今年度は案内サイン、パンフレット、ホームページやSNSなど、「道の駅」としてのマークを入れたロゴなどの変更費用も計上となります。前年と同水準での計上を見込むものであります。よって令和8年度の販売費及び一般管理費については、約287,281千円（前年対比114.17%）の計上見込むものとなりました。営業利益は、約9,227千円の増益の計上を見込むものとなりました。

④ 営業外損益

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	受取利息	205,194	322,087	350,000	27,913	108.67%
2	受取配当金	350	150	1,000	850	666.67%
3	雑収入	1,559,871	4,485,295	1,002,000	△ 3,483,295	22.34%
4	合計	1,765,415	4,807,532	1,353,000	△ 3,454,532	28.14%
5	支払利息	0	0	0	0	—
6	商品廃棄損	311,472	528,450	840,000	311,550	158.96%
7	雑損失	200	295,293	12,000	△ 283,293	4.06%
8	合計	311,672	823,743	852,000	28,257	103.43%
9	経常利益	30,186,528	1,243,380	9,728,000	8,484,620	782.38%

⑤ 特別損益

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	損害賠償金	0	0	0	0	—
2	受贈益・過年度修正益	0	0	0	0	—
3	補助金収入・貸倒戻入益	499,000	0	0	0	—
4	固定資産売却益	172,608	0	0	0	—
5	特別利益合計	671,608	0	0	0	—
6	固定資産圧縮記帳損	499,000	0	0	0	—
7	固定資産除却損(再構築寄付金)	1	0	0	0	—
8	特別損失合計	499,001	0	0	0	—
9	税引き前当期純利益	30,359,135	1,243,380	9,728,000	8,484,620	782.38%

⑥ 当期純利益

No.	区分	令和6年度 実績	令和7年度 決算見込	令和8年度 予算	前年度 増減額	前年度比
1	法人税・住民税・事業税	862,465	140,000	140,000	0	100.00%
2	当期純利益	29,496,670	1,103,380	9,588,000	8,484,620	868.97%

【営業外収益・営業外費用・経常利益・当期純利益】

令和8年度の雑収入の計上は、倉庫使用料、レンタサイクル利用料等を計上しました。

令和8年度において借入金は、計画的に元金返済ができていないことから無利子融資なため、利息の計上はなく計画的な計上としました。令和8年度は、特別利益、特別損失の計上はなく、東京電力HD(株)からの風評被害に対する賠償金の計上はありません。よって最終的な当期純利益は、約9,558千円の計上を見込むものとしました。令和8年度は、道の駅オープン1周年イベントによる直営店の売上増加を見込み計上しました。このことから、令和8年度は、増収増益の黒字計上を見込むものとしました。

